

各高等学校長様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
部会長 高木 伸一
(栃木県立鹿沼東高等学校長)
[公印省略]

第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選関係資料の送付について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。

さて、標記のことについて、下記のとおり送付いたしますので、貴職下関係職員へ御周知下さり、生徒の参加についてよろしく御高配下さるようお願いいたします。

なお、放送部のない学校でも出場できます。放送委員会、視聴覚委員会、映画研究部、文化映像部、デジタル放映部、放送・記録写真部、ボランティア部等の名称で放送専門部会に加盟している学校もごございます。また、これらの部、委員会等が存在しなくても出場が可能です。(ただし、生徒のみでの大会参加はできません。教員の引率が必要です。)該当すると思われる部、委員会等がない場合、国語科、視聴覚教育担当の先生等にお渡ししていただけたら幸いです。

アナウンス部門、朗読部門は、生徒1名から出場可能です。多くの学校に参加していただけますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 大会開催通知
- 2 2022 NHK杯栃木県予選 部門別提出書類・物品一覧表
- 3 校内放送研究 No.185 2022.3 のダウンロードのご案内
(第69回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 要項)
- ※5月23日(月)に行われる栃高文連放送専門部会総会(会場:栃木県立鹿沼東高等学校)に出席される学校には、総会当日「校内放送研究 No.185 2022.3」をお渡しいたします。
- 4 メールアドレスの登録のお願い
- 5 開催要項(令和4年版)
令和4年度栃高文連放送専門部会第44回放送コンテスト 兼
第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 6 研究発表使用機材について
- 7 栃木県立宇都宮工業高等学校でのお願い・宇都宮工業高校 校舎案内図
- 8 要項号変更箇所について
- 9 第69回大会について注意事項
- 10 減点基準
- 11 参加申込書(申し込みは電子メールでおこなう)
- 12 番組部門、研究発表部門作品用ラベル
- 13 不測の事態による大会の運営方法・審査方法の変更、延期判断、新型コロナウイルスへの対応およびその後の対応について
- 14 栃木県立宇都宮工業高等学校校舎案内図

各高等学校長様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
部会長 高木 伸一
(栃木県立鹿沼東高等学校長)
[公印省略]

令和4年度栃高文連放送専門部会第44回放送コンテスト 兼
第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選の開催について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。
さて、標記のことについて、下記のとおり開催いたしますので、貴職下担当職員へ御周知下さり、生徒の参加についてよろしく御高配下さるようお願いいたします。

記

- 1 名 称 令和4年度栃高文連放送専門部会第44回放送コンテスト 兼
第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 2 主 催 栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
NHK宇都宮放送局
- 3 後 援 栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 4 目 的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての
成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報
発信としての放送活動の発展をはかる。
- 5 日 時 第1日 令和4年6月11日(土) 8:30～16:30
朗読部門審査、研究発表・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメン
ト部門・創作テレビドラマ部門審査、創作ラジオドラマ部門作品提出
第2日 令和4年6月12日(日) 8:30～16:00
アナウンス部門審査、創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・表彰式、全国大会推薦手続き
- 6 会 場 **栃木県立宇都宮工業高等学校**(宇都宮市雀宮町52番地)
- 7 参加資格 2022年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の
各高等部、高等専門学校(第3年次までの生徒)、専修学校及び各種学校(修
業年限が高等学校と一致していること)に在籍中の生徒及びその生徒の制作した
作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変
・改編した作品の参加は認めない。
参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。
- 8 参加できる数 1名からでも参加できます。(先生の引率が必要です。)
(1) アナウンス・朗読部門は、各部門1校5名まで(1名1部門に限る)。
(2) 研究発表、番組部門(ドキュメント、ドラマ)は各部門複数の参加を認める。
(ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る)
- 9 参加要領 別冊の「開催要項」(令和4年度版)及び「校内放送研究」No.185(2022.3)参照
- 10 申し込み 令和4年5月19日(木)事務局必着(期限厳守)
学校単位で教員が申し込み手続きを行う。
参加申込書(Excel形式)を事務局(鹿沼東高校)の平塚美穂先生あてに
電子メールで送付する。e-mailアドレス hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp

番組部門のタイトル（作品名）が決定していない場合は、「未定」と記入する。
送信後、1日以上たっても、参加申込書を受理した旨のメールの返信が無い場合は、事務局へお問い合わせください。

1 1 問い合わせ 事務局（県大会の大会運営等）に関する質問は、

〒322-0002 鹿沼市千渡 2 0 5 0

栃木県立鹿沼東高等学校内 栃高文連放送専門部会事務局

担当：平塚 美穂（ひらつか みほ）

TEL 0289-62-7051 FAX 0289-65-7471

E-mail hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp

大会要項や番組制作に関する質問は、

第 6 8 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者

〒329-4407 栃木県栃木市大平町川連 3 7 0

栃木県立栃木翔南高等学校 坂本 一隆（さかもと かずたか）

TEL 0282-24-4739 E-mail sakamoto-k02@tochigi-edu.ed.jp

1 2 原稿、台本（番組進行表）、作品の提出について

・ **アナウンス、朗読原稿（各 8 部）** は、6 月 2 日（木）午後 5 時必着で、事務局に送付するか持参する。FAX で送らないでください。宅配便等配達記録の残る形で送付してください。

＜県立学校の先生にお願い＞ 原稿等の提出に、使送は使用しないでください。

・ **番組進行表（2 部）および番組作品（CD-R または、DVD-R）** は、6 月 1 1 日（土）9 時までに会場受付に持参する。研究発表も台本（番組進行表等）の提出が必要です。

創作ラジオドラマ部門の番組進行表と作品の提出も 6 月 1 1 日（土）9 時です。

1 3 キャンセル、作品名の変更について

・ 参加申込み後のキャンセルは、6 月 2 日（木）までに変更内容を事務局（鹿沼東高校 平塚美穂先生）へ、電子メールでお願いします。当日になってのキャンセルは受付の混乱や進行の遅れを招きますので、ご協力をお願いします。

（6 月 3 日から当日までの期間のキャンセルは参加料をいただきます。）

・ 作品名の変更がある場合は、6 月 2 日（木）までに事務局へ連絡をお願いします。

1 4 参加料について

・ アナウンス部門と朗読部門は 1 名につき 700 円、番組部門は 1 作品（発表）につき 1,000 円を第 1 日目（アナウンス部門のみに参加の学校は、第 2 日目）に会場受付で学校毎にまとめて納入して下さい。

おつりの無いようにご協力願います。事務局では、おつり用の小銭は用意いたしません。

1 5 表 彰

(1) 各部門の上位入賞者・優秀作品を表彰します。また、上位入賞者・優秀作品に得点を与え、学校単位に得点を集計して総合成績でも表彰をします。

(2) 表彰・得点については「開催要項」（令和 4 年度版）のとおり。

1 6 注意事項

(1) 「校内放送研究」No185(2022.3)および一緒に送付した各種資料をよく読んで遺漏のないようにしてください。不明な点は、そのままにせず、事務局の鹿沼東高校の平塚美穂先生か NHK 杯都道府県担当者の栃木翔南高校の坂本までお問い合わせください。

(2) 研究発表の県予選は、従来どおり会場でパソコンを用いたプレゼンテーションとなります。また、「校内放送研究」No185（2022.3）の 16 ページをよく確認して下さい。県予選で使用するパソコンは事務局の備品の関係で、Windows10、PowerPoint 2016 を予定しています。（全国大会では Windows11、PowerPoint 2016 です。販売されている P P の最新バージョンは 2021 です。）

(3) 県予選における原稿、番組の台本、作品の返却は、いたしません。

(4) 番組審査時は、代表生徒またはそれに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会ってください。

1 7 全国大会 全部門（研究発表部門を除く）の **準々決勝がデータ審査** になります。

・ 準々決勝：7 月 9 日（土）、準決勝進出發表：7 月 1 3 日（水）

・ 準決勝 データ審査の場合：7 月 2 5 日（月）、会場公開の場合：7 月 2 7 日（水）

・ 決勝（NHK ホール）が 7 月 2 8 日（木）に行われます。

詳細は、県予選終了後、全国大会推薦校に文書をお渡しします。

放送部、放送委員会、視聴覚委員会等加盟各部、委員会顧問 様

栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
部 会 長 高木 伸一
(栃木県立鹿沼東高等学校長)
[公印省略]

令和4年度栃高文連放送専門部会第44回放送コンテスト 兼
第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選の開催について

日頃は本部会事業についてご理解をいただきありがとうございます。
さて、標記のことについて、下記のとおり開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

- 1 名 称 令和4年度栃高文連放送専門部会第44回放送コンテスト 兼
第69回NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
- 2 主 催 栃木県高等学校文化連盟放送専門部会
NHK宇都宮放送局
- 3 後 援 栃木県高等学校教育研究会視聴覚部会
- 4 目 的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての
成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報
発信としての放送活動の発展をはかる。
- 5 日 時 第1日 令和4年6月11日(土) 8:30～16:30
朗読部門審査、研究発表・ラジオドキュメント部門・テレビドキュメン
ト部門・創作テレビドラマ部門審査、創作ラジオドラマ部門作品提出
第2日 令和4年6月12日(日) 8:30～16:00
アナウンス部門審査、創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・表彰式、全国大会推薦手続き
- 6 会 場 **栃木県立宇都宮工業高等学校**(宇都宮市雀宮町52番地)
- 7 参加資格 2022年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の
各高等部、高等専門学校(第3年次までの生徒)、専修学校及び各種学校(修
業年限が高等学校と一致していること)に在籍中の生徒及びその生徒の制作した
作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変
・改編した作品の参加は認めない。
参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。
- 8 参加できる数 1名からでも参加できます。(先生の引率が必要です。)
(1) アナウンス・朗読部門は、各部門1校5名まで(1名1部門に限る)。
(2) 研究発表、番組部門(ドキュメント、ドラマ)は各部門複数の参加を認める。
(ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る)
- 9 参加要領 別冊の「開催要項」(令和4年度版)及び「校内放送研究」No.185(2022.3)参照
- 10 申し込み 令和4年5月19日(木)事務局必着(期限厳守)
学校単位で教員が申し込み手続きを行う。
参加申込書(Excel形式)を事務局(鹿沼東高校)の平塚美穂先生あてに
電子メールで送付する。e-mailアドレス hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp

番組部門のタイトル（作品名）が決定していない場合は、「未定」と記入する。
送信後、1日以上たっても、参加申込書を受理した旨のメールの返信が無い場合は、事務局へお問い合わせください。

1 1 問い合わせ 事務局（県大会の大会運営等）に関する質問は、

〒322-0002 鹿沼市千渡 2 0 5 0

栃木県立鹿沼東高等学校内 栃高文連放送専門部会事務局

担当：平塚 美穂（ひらつか みほ）

TEL 0289-62-7051 FAX 0289-65-7471

E-mail hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp

大会要項や番組制作に関する質問は、

第 6 8 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者

〒329-4407 栃木県栃木市大平町川連 3 7 0

栃木県立栃木翔南高等学校 坂本 一隆（さかもと かずたか）

TEL 0282-24-4739 E-mail sakamoto-k02@tochigi-edu.ed.jp

1 2 原稿、台本（番組進行表）、作品の提出について

・ **アナウンス、朗読原稿（各 8 部）** は、6 月 2 日（木）午後 5 時必着で、事務局に送付するか持参する。FAX で送らないでください。宅配便等配達記録の残る形で送付してください。

＜県立学校の先生にお願い＞ 原稿等の提出に、使送は使用しないでください。

・ **番組進行表（2 部）および番組作品（CD-R または、DVD-R）** は、6 月 1 1 日（土）9 時までに会場受付に持参する。研究発表も台本（番組進行表等）の提出が必要です。

創作ラジオドラマ部門の番組進行表と作品の提出も 6 月 1 1 日（土）9 時です。

1 3 キャンセル、作品名の変更について

・ 参加申込み後のキャンセルは、6 月 2 日（木）までに変更内容を事務局（鹿沼東高校 平塚美穂先生）へ、電子メールでお願いします。当日になってのキャンセルは受付の混乱や進行の遅れを招きますので、ご協力をお願いします。

（6 月 3 日から当日までの期間のキャンセルは参加料をいただきます。）

・ 作品名の変更がある場合は、6 月 2 日（木）までに事務局へ連絡をお願いします。

1 4 参加料について

・ アナウンス部門と朗読部門は 1 名につき 700 円、番組部門は 1 作品（発表）につき 1,000 円を第 1 日目（アナウンス部門のみに参加の学校は、第 2 日目）に会場受付で学校毎にまとめて納入して下さい。

おつりの無いようにご協力願います。事務局では、おつり用の小銭は用意いたしません。

1 5 表 彰

(1) 各部門の上位入賞者・優秀作品を表彰します。また、上位入賞者・優秀作品に得点を与え、学校単位に得点を集計して総合成績でも表彰をします。

(2) 表彰・得点については「開催要項」（令和 4 年度版）のとおり。

1 6 注意事項

(1) 「校内放送研究」No185(2022.3)および一緒に送付した各種資料をよく読んで遺漏のないようにしてください。不明な点は、そのままにせず、事務局の鹿沼東高校の平塚美穂先生か NHK 杯都道府県担当者の栃木翔南高校の坂本までお問い合わせください。

(2) 研究発表の県予選は、従来どおり会場でパソコンを用いたプレゼンテーションとなります。また、「校内放送研究」No185(2022.3)の 16 ページをよく確認して下さい。県予選で使用するパソコンは事務局の備品の関係で、Windows10、PowerPoint 2016 を予定しています。（全国大会では Windows11、PowerPoint 2016 です。販売されている P P の最新バージョンは 2021 です。）

(3) 県予選における原稿、番組の台本、作品の返却は、いたしません。

(4) 番組審査時は、代表生徒またはそれに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会ってください。

1 7 全国大会 全部門（研究発表部門を除く）の **準々決勝がデータ審査** になります。

・ 準々決勝：7 月 9 日（土）、準決勝進出發表：7 月 1 3 日（水）

・ 準決勝 データ審査の場合：7 月 2 5 日（月）、会場公開の場合：7 月 2 7 日（水）

・ 決勝（NHK ホール）が 7 月 2 8 日（木）に行われます。

詳細は、県予選終了後、全国大会推薦校に文書をお渡しします。

2022 NHK杯栃木県予選 部門別提出書類・物品一覧表

< チェック用紙 >

全部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	参加申込書 ※締め切り厳守 ※栃高文連放送専門部会のグーグル・グループでメール配信された Excel 形式のファイルに入力して、メールで事務局あてに送信する。 (鹿沼東高校 平塚美穂先生 hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp)	5/19(木) 必着 電子メール	鹿沼東高校 平塚美穂先生

アナウンス部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (8部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	6/2日(木) 午後5時必着	鹿沼東高校 石川享子先生

朗読部門

✓	提出書類	提出締切日	提出先
	原稿 (8部) ※締め切り厳守 遅れた場合は失格になります。 ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を原稿用紙として使用する。(手書き可) 事務局へ提出後は、原稿の変更はできません。	6/2日(木) 午後5時必着	鹿沼東高校 石川享子先生

ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

✓	提出書類・作品	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/11日(土) 午前9時	会場受付
	作品 MP3形式のデータファイル CD-RまたはDVD-R(2枚)		

※創作ラジオドラマ部門のみの参加で第1日目に参加しない場合は、大会前日の6/10(金)午後5時までに事務局へ郵送、または持参する。(事前に事務局に連絡) **6/12(日)に持参は失格**

テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門

✓	提出書類・作品	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/11日(土) 午前9時	会場受付
	作品 MP4形式のデータファイル CD-RまたはDVD-R(2枚)		

研究発表部門

✓	提出書類等	提出締切日	提出先
	番組進行表 (2部) ※NHK杯全国高校放送コンテストで指定の様式を使用する。 PCでデータ入力し、印刷したものを提出する。	6/12日(土) 午前9時	会場受付
	パワーポイントスライドの印刷 ※1ページあたり6枚のスライドが表示された「配付資料」を A4縦に片面印刷したものを番組進行表の後ろに重ねて綴じる。 パワーポイント2016で作成した研究発表データ データCD形式で作成した CD-R (2枚)		
	発表に使用する音声データ、映像データ ※windows Media Playerから再生することも出来ませんが、パワーポイントの中に組み込むことが望ましい。 音声・映像が再生されない場合に備えて、windows Media Playerで再生できるデータをUSBメモリーで持参する。 ※CDラジカセは使用できません。 ※DVDプレーヤーは使用できません。 ※オンラインでも発表できることを前提に制作すること。	6/12日(土)	発表時に持参

指定の様式は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページからダウンロードして使用してください。http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html 昨年度以前の様式は使用できません。

番組部門の作品、研究発表部門のデータについては、「校内放送研究」No.185(2022.3)をよく読んで、規格に間違いないように注意すること。事務局で用意する機器で再生できない場合は、失格となります。

研究発表で提出するパワーポイントのスライドを印刷した「配付資料」は、会場で見学者に配布するためのものではありません。台本の確認をする際に必要となるものです。

第69回大会における県予選、全国大会の変更点・注意点

＜県予選＞

会場・開催日について

- ・今年度も昨年度に引き続き、県予選の会場が、栃木県子ども総合科学館ではなく、栃木県立宇都宮工業高等学校になります。
- ・平日開催ではなく、土日開催になります。

アナウンス部門、朗読部門について

- ・県予選においては、会場で発表する従来どおりの形式で行います。
全国大会の準々決勝においては、事前に録音した音声データを再生してオンラインで審査を行います。準決勝（オリンピックセンター）と決勝（NHKホール）は、会場にて発表形式で行いますが、今後の感染状況によっては、準決勝以降の審査も事前に録音した音声データを再生してオンラインで行う場合もあります。
ただし、県予選においても新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、大会運営に制限が出た場合は、データ提出に変わることもありえますので、ご承知おきください。
どのタイミングで決断するか等運営の詳細は、5月23日（月）に行われる栃高文連放送専門部会総会で審議し、決定するものとします。なお、今後の感染状況によっては、書面決議となる場合があります。その場合は、グーグル・グループを使って、先生方のご意見を集め、決定したいと思います。

番組部門について

- ・全部門共通
著作物について、昨年度（令和3年度）からオンライン審査が導入されたため、許諾条件に「配信」が可能かどうか、が付け加わりました。配信が許可されない著作物は使用できません。NコンWEBで優秀作品がWEB公開されていますが、優秀作品は、特別な手続きをNHKが行っています。
- ・今年度も提出物チェックは、準々決勝が終わった後で、準決勝に進出に該当する作品しか行いません。オンライン公開された後なので、権利処理が不十分な作品は、後で分かった場合に訴えられる可能性があるのも、ご注意ください。きちんと手続きを踏めば数千円や数万円で済むことが、**訴えられ裁判になると損害賠償で数百万円の賠償になることもあります**のでご注意ください。**分からないものは使わないが原則**です。高校生のしたことだからと許してもらえないことではないので、顧問の先生は、制作過程で特に注意をして下さい。
- ・ラジオドキュメント部門、創作ラジオドラマ部門においては、MP3形式の音声データです。
音楽CD形式ではないので、間違えないようにして下さい。
県予選において、音楽CD形式で制作して持参した場合は、失格とします。審査しません。
- ・テレビドキュメント部門、創作テレビドラマ部門においては、MP4形式の映像データです。
DVDビデオ形式ではないので、間違えないようにして下さい。
県予選において、DVDビデオ形式で制作して持参した場合は、失格とします。審査しません。
- ・県予選において、新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、大会運営に制限が出た場合は、事前にデータ提出に変わることもありえますので、ご承知おきください。
どのタイミングで決断するか等運営の詳細は、5月23日（月）に行われる栃高文連放送専門部会総会で審議し、決定するものとします。なお、今後の感染状況によっては、書面決議となる場合があります。その場合は、グーグル・グループを使って、先生方のご意見を集め、決定したいと思います。

研究発表について

- ・県予選では、従来どおりの形で開催します。
会場で発表してもらいます。オンライン（リモート）ではありません。
- ・データ容量の上限が、10MBから**30MBに変更**になりました。
- ・全国大会では、東京に来ることが可能な場合は、会場で発表し、新型コロナウイルスの感染状況により来ることができない場合、困難な場合は、自校からパソコンを使用して、インターネット回線を利用したオンラインでの発表になります。画面共有によりパワーポイントの画面をオンラインで発表します。
パソコンの画面をパワーポイントからwindows Media Playerに切り替えて、音声や映像をインターネット

トでうまく流せるか、パワーポイントで発表しながらwindows Media Playerで音声を流せるか等、県大会においても全国大会を意識した制作をして下さい。

今年度からCDプレーヤーとDVDプレーヤーが発表環境からなくなりました。また、全国大会で使用するパソコンは、古いWindowsをWindows 11にアップグレードしたもので、Windows 11として販売されているパソコンにインストールされているパワーポイントのバージョンが最新のものではなく、2016となります。

県大会ではできたことが、全国大会では技術的にできなかったと、ならないようにして下さい。

また、今後の新型コロナウイルスの感染状況により、すべてオンライン発表になる場合もあるのでご承知おきください。

<全国大会>

すべての部門で、準々決勝審査は、データ審査になります。

※研究発表のみ東京会場または、自校からパソコンを使用して、オンラインでの発表になります。

この他、校内放送研究No.185（2022.3）の5ページもお読み下さい。

校内放送研究No.185（2022.3）のダウンロードのご案内

NHK杯全国高校放送コンテスト栃木県予選に参加する学校は、NHK杯全国高校放送コンテストのホームページから要項等をダウンロードしてください。通信費節約のため各校へ「校内放送研究No.185（2022.3）」を冊子での配布はしておりません。ご了承下さい。5月23日（月）に鹿沼高校で行われる放送専門部会総会にて配布します。

校内放送研究No.185（2022.3）

「第69回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会要項」
アナウンス部門と朗読部門の原稿用紙、ラジオ番組とテレビ番組、研究発表部門の番組進行表用紙等、
テレビ番組のカラーバー（テストパターン）は、次のアドレスからダウンロードしてください。

NHK杯全国高校放送コンテストのホームページ

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html

不明な点は、そのままにせず、第69回NHK杯全国高校放送コンテスト都道府県担当者の栃木県立栃木翔南高等学校 坂本一隆（さかもと かずたか）まで、お問い合わせください。

生徒さんが直接学校に電話してくるがありますが、お電話は、顧問の先生を通してお願いいたします。説明が難しい場合は、途中で生徒さんに変わっていただいても構いません。

栃木翔南高等学校 TEL 0282-24-4739
E-mail sakamoto-k02@tochigi-edu.ed.jp

令和４年度栃高文連放送専門部会第４４回放送コンテスト
兼
第６９回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト栃木県予選

開 催 要 項

(令和４年度版)



栃高文連放送専門部会事務局

栃木県立鹿沼東高等学校内

〒322-0002 鹿沼市千渡2050

TEL 0289-62-7051

FAX 0289-65-7471

担当 平塚 美穂(ひらつか みほ)

E-mail hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jp

NHK杯全国大会への推薦予定数

アナウンス部門		6名
朗読部門		6名
番組部門	ラジオドキュメント部門	4作品
	テレビドキュメント部門	4作品
	創作ラジオドラマ部門	2作品
	創作テレビドラマ部門	2作品
研究発表		2発表

※ アナウンス・朗読部門は、1名1部門とする。

※ 番組は、1部門に、1校1作品とする。

放送コンテスト県大会要項

1. コンテストの各部門

- (1) アナウンス (2) 朗読 (3) 研究発表 (4) ラジオドキュメント
(5) テレビドキュメント (6) 創作ラジオドラマ (7) 創作テレビドラマ

2. 審査員

- (1) 専門職審査員（NHKアナウンス担当職員および番組担当職員あるいは、アナウンス、番組制作を職業とする者。または、これに準じる者）。
(2) 栃高文連放送専門部会役員（主にコンテスト委員）。
(3) 各高校の放送部顧問。
(4) 栃高文連放送部会の推薦する者。

3. 表彰

(1) 部門賞

	アナウンス 朗 読	研究発表	ラジオドキュメント テレビドキュメント	創作ラジオドラマ 創作テレビドラマ
最優秀賞	1	1	1	1
優 秀 賞	5	1	3	1
優 良 賞	3	1	2	1

上記表の部門賞には賞状を与え表彰する。

トロフィーに貼るプレートは、後日事務局より受賞各校へ送付する。

トロフィーは、最優秀賞のみに授与する。

(2) 学校賞

審査規定により各部門の順位を決定し、それぞれの部門の順位点を合計したものを、各学校の得点とする。得点の高い上位3校を表彰する。

優 勝：賞状及び優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。
準優勝：賞状及び準優勝カップ（持ち回り）を与える。次年度にレプリカ（楯）を贈呈する。
第3位：賞状を与える。

4. 日程

- 第1日 令和4年6月11日（土） 8:30 ～ 16:30
朗読部門審査
研究発表・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作テレビドラマ部門審査
創作ラジオドラマ部門作品・番組進行表提出（6/12（日）に持参した場合は失格）
- 第2日 令和3年6月12日（日） 8:30 ～ 16:00
アナウンス審査・第1日目の結果発表
創作ラジオドラマ部門審査
全部門審査結果発表・全部門表彰式

5. 参加資格

2022年7月現在、県内高等学校及び中等教育学校の後期課程、特別支援学校の各高等部、高等専門学校（第3年次までの生徒）、専修学校及び各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）に在学中の生徒及びその生徒の制作した作品であること。他のコンテスト・コンクール等に参加した作品及びそれを改変した作品の参加は認めない。

参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わる。

6. 参加申込み（エントリー）

- (1) **アナウンス部門・朗読部門は、各部門1校5名まで**（1名1部門に限る）。
※同じ生徒がアナウンスと朗読の両方に出場することはできません。
ただし、(2)の部門（研究発表、番組部門）の参加を認める。朗読部門に出場する生徒は番組の発表、研究発表と審査が重なる場合があります。注意してください。
- (2) 研究発表、ラジオドキュメント、テレビドキュメント、創作ラジオドラマ、創作テレビドラマ部門は各部門とも複数の参加を認める。
ただし、全国大会への推薦は各校とも各部門1作品に限る。
※研究発表をおこなう生徒は、朗読の発表と重ならないようにすること。
番組審査時は、代表生徒または、それに準じた生徒が必ず自校作品の発表に立ち会うこと。

7. 参加費

- (1) アナウンス・朗読部門は1名につき700円。
- (2) ドキュメント・創作ドラマ部門および研究発表は1作品につき1,000円。

第1日目に会場受付で学校毎に2日分をまとめて納入して下さい。1日目に参加しない学校（アナウンス部門のみに参加）は第2日目に納入して下さい。なお、6月3日（金）以降及び当日のキャンセルは参加料をいただきます。

事務局では、釣り銭用の小銭は用意しておりません。おつりのないようにご協力ください。

8. 決勝進出等について

- (1) アナウンス、朗読の決勝進出者について
決勝進出者は予選順位の上位15名とする。
ただし、15位が複数の場合は15名を超えて15位まで全員
- (2) アナウンス、朗読の決勝について
ア. 決勝進出者発表終了後、その会場で課題原稿（事務局で用意）を配布する。
イ. アナウンス部門の決勝は、自分の原稿（番号・氏名を含む）と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。
なお、時間は特に指定しないが、適度な速さで読む。
ウ. 朗読部門の決勝は、自分の原稿（番号・氏名を含む）と課題原稿（決勝進出決定時に配布する指定原稿の中から1つ選ぶ）を続けて読む。
決勝進出決定時に配布する指定原稿については、作品、作者名は読まない。
なお、時間は特に指定しないが、適度な速さで読む。
- (3) 研究発表、ドキュメント、創作ドラマについては、予選を行わない。

放送コンテスト県大会規定ならびに学校賞得点基準

1. 放送コンテスト県大会規定

「校内放送研究」No.185（2022.3）の内容に準じる。

注意点：各部門の「時間」一覧

アナウンス部門	1分10秒以上1分30秒以内
朗読部門	1分30秒以上2分以内
ラジオドキュメント部門	6分30秒以上7分以内
テレビドキュメント部門	7分30秒以上8分以内
創作ラジオドラマ部門	8分以内
創作テレビドラマ部門	8分以内
研究発表	8分以内

※ 規定時間違反は失格となります。

研究発表部門は、減点

2. 学校賞に係る各部門の順位得点について

(1) 各部門の各順位の得点は、下記の順位得点表による。

① 参加者（作品）全員に参加点を与える。

② 上位の者（作品）には、参加点＋各順位の点数を与える。

(2) 同点の場合は、学校賞の得点集計においては同順位として扱う。

審査の規定の1.の(3)のウまでの順位で得点を与える。

<各部門の順位得点表>

アナウンス・朗読部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7～9位	10位～決勝進出	参加点
得点	9	8	7	6	5	4	3	2	1

研究発表部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

ラジオドキュメント・テレビドキュメント部門

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位			参加点
得点	8	7	6	5	4	3			2

創作ラジオドラマ・創作テレビドラマ部門

順位	1位	2位	3位						参加点
得点	8	7	6						2

放送コンテスト県大会審査の規定ならびに審査基準および様式

1. アナウンス・朗読予選・決勝審査規定

(1) 審査員は7名とする。

ア 専門職審査員（1名）

イ コンテスト委員（6名）

ただし、専門職審査員の都合がつかない場合は、コンテスト委員6名で審査を行う。また、各学校の放送部顧問は、コンテスト委員と同様に審査を担当することができる。また、上記審査員以外に計時係を一人置く。足りない場合は審査員の一人が兼ねる。

(2) アナウンス、朗読は、予選を行いそれぞれ上位15位までを決勝進出者として、決勝を行う。

(3) 予選の順位決定

ア 専門職審査員の与えた点をAとする。

イ コンテスト委員6名が与えた点のうち、最高点と最低点をカットした4名分の得点をBとする。

ウ A+Bの得点が高い順に順位を決定する。

エ 合計点が等しい時は次の順序で決定していく。

① 専門職の得点高い方

② カットされた得点のうち、最高点が高い方

③ カットされた得点のうち、最低点が高い方

④ カットされない得点の中の最高点が高い方

⑤ 利害関係のない審査員（当該校の顧問が審査員の場合は外し、残りの審査員）による決選投票をおこない多数決で決める。

⑥ ⑤までで同点の場合は、審査員全員で協議し次年度からその方法を⑥として規定に加える。

(4) 決勝の順位決定

決勝は、予選の得点を参考としない。また、審査員が与える得点は、60点を最低点とする。その他は、予選の順位決定と同じ方法で決定する。

2. 研究発表・ドキュメント・創作ドラマ部門審査規定

上記各部門は、予選を行わず1回の審査で順位を決定する。

審査員の構成や順位の決定は、1.の部門と同じとする。

3. 放送コンテスト県大会の審査基準

「校内放送研究」No.185（2022.3）の6、7、8、10、12、14ページの内容に準じる。ただし、研究発表は、コンテスト形式の最後が1999年なので、No.116（1999.7）に準じる。

4. 放送コンテスト県大会の様式

「校内放送研究」No.185（2022.3）の内容に準じる。

必ず、今年度の様式をコンテストのホームページからダウンロードして下さい。

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html

昨年度以前にダウンロードした様式は使用しない。

今年度以外の様式を使用した場合は、減点対象となる。



1. 発表時間について

- ① 研究発表の持ち時間は8分以内とする。
- ② 計時スタートは、発表者の第一声からとする。
(全国大会においては機材の調整時間も含めて、8分以内となっているので注意すること。)
- ③ 計時終了は、発表者の発表終了の時点。
※発表終了がわかるような発表にしてください。(ご清聴ありがとうございました。)
- ④ 発表開始8分後に、第1鈴(卓上ベル)。さらに30秒後に第2鈴。
※県予選においては事務局でベルが用意できないので、④の時間超過のお知らせはしません。
発表者は、時間オーバーにならないように練習してきてください。減点はします。
- ⑤ 8分以後、超過30秒ごとに各審査員の付けた得点から満点の5%ずつ減点。
(8分を超えた場合、8分30秒までは、5点減点、9分までは、さらに5点減点)
- ⑥ 9分以上の発表は直ちに中止。
※9分を過ぎた段階で、進行担当者から発表中止の命令を出します。(失格ではありません。)

<県予選のみの規定>

準備は前の発表者終了後の撤去を入れて2分以内。

審査開始前にPC担当生徒にPCの操作説明をおこないます。(リハーサルではありません。)

2. 審査の視点と配点

点数は100点法

ア. テーマ点 (30点)

- | | |
|----------------------|---------------|
| a テーマをよくとらえ見事に表現している | b テーマにふさわしい |
| c テーマにふさわしいが今一步 | d テーマがややずれている |
| e テーマにふさわしくない | |

イ. 実践や取り組みの程度 (40点)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

ウ. 発表の技術 (30点)

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a 特にすぐれている | b すぐれている | c ふつうである |
| d やや劣る | e はなはだしく劣る | |

研究発表部門における注意事項とお願い

- ・全国大会においては、今年度は、オンラインで自校のPCを用いて発表を行うため、「校内放送研究」No.182(2021. 3)の16ページで利用できるソフトのバージョンが示されていません。例年ですと、コンテスト事務局が用意するバージョンと制作校のバージョンが異なると、特にパワーポイントにおいては、スライドが意図したとおりに動作しない場合がありますが、今年度は、利用できるソフトのバージョンが規定から外れました。ただし、県予選においては例年と同じ、会場で発表する形を取る関係で、事務局では、昨年(実質的には一昨年)までの規定を適用して「校内放送研究」No.178(2019. 3)の16ページにあるバージョンのソフト(Windows10、PowerPoint2016)を用意します。事務局でこのバージョンのPCを用意できない場合は、参加校にPCを持参していただく場合もあります。その際には事前に事務局から参加校に連絡し、参加校のうちの1校からPCを借り、参加校すべてで使用します。
- ・PCを購入した時の状態でインストールされていないアドインソフトなどは、インストールされていないために使用できない場合があります。持参したデータが正常に使用できない場合も事務局では責任を持ちません。また、事務局で用意したPCにアドインソフトがインストールされていないことによる、自校PCの使用は認められませんので注意してください。映像データを特殊な方法で圧縮したり、再生しようとするPCによる互換性が著しく落ちますので注意してください。
- ・参加校には、県予選で事前に使用する機器の確認をいたします。電子メールでご連絡ください。
PC以外で事務局で用意する機材

- ① 使用するマイクの本数（ 1 本か 2 本か ）
- ② P Cから音声を出力するか。
- ③ レーザーポインターの使用の有無
- ※ 県予選においては、電気スタンドは用意いたしません。

研究発表部門参加各校顧問様

研究発表使用機材について

6月11日（土）の栃木県予選にて使用する機材の確認を致します。

準備の都合上、使用機材の確認を別紙にて、

6月2日（木）までに電子メールにて鹿沼東高校の平塚美穂先生までお知らせいただけますようお願いいたします。

使用できる機材については、校内放送研究 No.185 16 ページをよくご確認ください。

- ・ 使用できるマイクについては、県予選では、有線マイクのみです。
使用する本数をお知らせください。使用しない場合は、0本と記入
- ・ P Cから音声を再生する場合は、必ずお知らせください。
- ・ 電気スタンドについては、県予選では必要性がないことから用意しません。
会場を真っ暗にすることができないため、使用する必要がないと判断しています。
- ・ 事務局で、指定のバージョンのOS、ソフトを用意できない場合は、参加各校にP Cの借用をお願いすることがあります。また、異なるバージョンのOS、ソフトウェアを使用して大会を実施する場合があります。
- ・ 提供をお願いしている学校以外で、参加各校が自校のP Cを使用して発表することは認められません。

注意

- ・ パワーポイントに特殊な圧縮方法を使用したビデオデータや音声データを使用した場合、再生できないことがあります。（再生できません。）
購入したばかりの新品のP Cで再生できないデータは、再生できないと考えてください。
再生させるために審査で使用するP Cに、コーデック等をインストールすることは認められません。
- ・ パワーポイントに組み込んだ音声や映像が再生されない場合に備えて、windows Media Player で再生できるデータをUSBメモリーで持参する。
- ・ CDプレーヤー、DVDプレーヤーは、使用できません。

NHＫ杯全国高校放送コンテスト栃木県予選
研究発表使用機材について

6月2日（木）までに、鹿沼東高校 平塚美穂先生 hiratsuka-m01@tochigi-edu.ed.jpへ

送信者	<div>_____学校</div> <div>氏名 _____</div>						
<div>マイクの使用本数 _____本</div> <div>↓ 使用する機材に ○ をつける。</div> <table><tr><td></td><td>P C （OS:Windows11 1 台）</td></tr><tr><td></td><td>P C からの音声出力 → 有 ・ 無</td></tr><tr><td></td><td>レーザーポインター （1 個）</td></tr></table> <div>その他の連絡事項</div>			P C （OS:Windows11 1 台）		P C からの音声出力 → 有 ・ 無		レーザーポインター （1 個）
	P C （OS:Windows11 1 台）						
	P C からの音声出力 → 有 ・ 無						
	レーザーポインター （1 個）						

栃木県立宇都宮工業高校でのお願い

この施設は、宇都宮工業高校の先生のご協力を得て、無料でお借りしています。節度を持って利用してください。

生徒のみなさんへ

- (1) **上履きを持参する。**
- (2) 自転車は、駐輪場を使用する。
- (3) コンテストで使用している会場以外には立ち入らない。
- (4) 施設内の電源を使用しない。
- (5) 大会事務局（鹿沼東高校職員）の指示に従い、不明な点は必ず質問すること。
- (6) 昼食は感染防止のため、屋外で食べる。雨天時は別途連絡します。
大講義室・会議室は飲食禁止なので注意すること。
- (7) 発声練習は、屋外で、近隣住民に迷惑とならない方向を向いて行う。

先生方へ

- (1) 敷地内禁煙です。おタバコはご遠慮ください。

※コンテストは、一般の方に対して原則非公開で実施しています。保護者の見学はできません。保護者が見学に来ることのないように、事前に周知しておいてください。